

## くろしお祭り2024in とろむ

### 1. 事業の概要

#### ○ 事業の趣旨

高知県東部地域の豊かな自然・歴史・文化を体験する活動、宿泊体験、世代間交流などを通して、青少年のチャレンジ精神、創造性、社会性を育むとともに、国立施設として新たな価値を創造し、地域活性化に貢献する施設である（あり続ける・生まれ変わる）ことを発信する事をねらいとする。

#### ○ 実施期間

令和6年10月5日（土）～10月6日（日） 1泊2日

#### ○ 対象者・参加者数

小学生以下を含む家族またはグループ（保護者同伴のもと）

日帰り：460名 宿泊：18家族68名

#### ○ 活動プログラム

	1日目		2日目
8:00	会場準備	6:00	起床
9:30	開会式（海の駅とろむ） 体験・飲食・発表ブースなど	7:15	朝のつどい
14:00	閉会式（海の駅とろむ）  ※以下宿泊利用者プログラム	7:30	朝食
16:00	入所式、オリエンテーション	8:45	退所点検
16:45	配宿（荷物移動・ベッドメイキング）	9:30	遊びリンピック
17:45	野外炊事（カツオのたたき）	10:30	移動（室戸第2駐車場へ）
19:30	キャンプファイア	11:00	うみがめ放流（奈良師・元海岸）
20:30	入浴	12:00	退所式・解散
22:00	就寝		

## 2. 活動の様子

### <1日目>

今年のくろしお祭りは会場を「海の駅とろむ」にて開催をし、室戸市内外の各種団体、近隣の国立施設の協力を得て、3つの団体による後援、12の団体による体験ブース、6つの団体による飲食ブース、4つの団体による踊りや演奏、トークショーなどによって構成され、メインイベントとして高知県沖で保護され、治療を受けたうみがめの放流を行い、来場者に自由にブース巡りをしてもらった。地元の子どもの発表や様々な体験ブースを行っていた。



くろしお祭り終了後、自然の家にて宿泊者限定プログラムを開催した。入所式後、夕食にてかつおのたたき体験を行い、普段体験できない藁焼きを体験して、燃え上がる炎に参加者も盛り上がっていた。

夜のキャンプファイアでは、法人ボランティアが企画したレクリエーションやキャンプソングで楽しみ、家族間での交流を行うことが出来た。



### <2日目>

法人ボランティアが6つのブースを計画して遊びリンピックを行った。子どもだけでなく保護者も積極的に参加し、自己ベストを目指してブースを回っていた。参加者からはもう一度やりたいという声も上がった。

遊びリンピック終了後「奈良師・元海岸」へ移動し、元小学校の在校生と一緒に海岸にてうみがめ放流を行った。1日目とは違い、砂浜で行ったためうみがめが海へ力強く歩く姿を見て、自然と「頑張れ」といった声が上がった。



### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・キャンプファイアやうみがめ放流の際の誘導が親切だった。
  - ・遊びリンピックが楽しかった。もう少しやりたかった。
  - ・非日常を体験することが出来た。
- ▲かつおのたたきを作るのに時間がかかり 30 分ほど待ち時間があった。
- ▲ボランティアに質問をしても回答が分からないということがあった。
- ▲メールでの案内が分かりづらかった。

#### ○ 事業の成果

- ・日帰り参加者数 460 名、宿泊参加者 18 家族 68 名の方に参加いただき、例年に比べて多くの方に来場していただいた。来年度には本所 50 周年ということもあり多くの方に認知していただくため会場を「海の駅 とろむ」で開催を行った。
- ・地元の飲食店やキッチンカーを誘致することで午後の時間帯でも参加者が残って活動を行っていた。
- ・子ども遊びリンピックをもっと長い時間やりたいという声が上がった。

#### ○ 事業の課題

- ・会場の準備や設営に時間がかかり、開始時刻が遅れることがあったため開始時刻を遅らせるなどの対策を考える必要がある。
- ・宿泊プログラムとして野外炊事でかつおのたたきを実施したが、道具が不十分であったため参加者に待機してもらう時間があった。
- ・アンケートの記入時間が少なかったため時間に余裕を持たせたスケジュールを組む必要があった。